

じどうかん通信

第127号

令和5年10月発行

愛知県児童館連絡協議会

扶桑町初の児童センター

扶桑町児童センター 若尾 典子

令和5年4月1日に扶桑町児童センター「ひまわり」がオープンしました。

扶桑町は、愛知県北西部に位置し岐阜県と隣接する人口3万5千人の町で、田園風景が広がり北部には木曾川が流れており自然も多い町です。

その自然豊かな扶桑町に児童センターがオープンし半年が経過しました。



平日の午前中は子育て支援センターの親子で賑わい15時を過ぎると元気な子どもたちが額に汗をにじませやってきます。「こんにちはー!」「カードは?」「もうピッてやったよ!」利用する子ども一人ひとりに入館カードを作成しています。0歳から18歳まで使う自分だけのカードです。カードにはバーコードがついているので、入館時、退館時にバーコードをかざします。高校生まで使うから大事にとの思いも裏腹に・・・「カードなくしちゃいました」の声も。「なくさないでね。大切にね。」の声掛けが多くなっているのが現状です。入退館の流れが定着するまでは根気よく声を掛けていきたいと思えます。

スタッフが声をかけても静かに立ち去る子や大きな声であいさつをしてくれる子など様々な表情を見せてくれる子どもたちですが、回数を重ねるごとに「こんにちは!」のあいさつも増えてきました。

それぞれの目的を持って、まっしぐらに部屋へ走っていく小学生。中学生と高校生は、勉強道具の入った大きなリュックサックを背負って2階の学習室へゆっくりと歩いていきます。時々、ボードゲームをしたり本を読んだりして息抜きをしているようです。

オープン当初は部屋ごとに決めた様々なルールをスタッフの間で共有する大変さがありましたが、状況に応じて変化していくルールをスタッフ全員で確認することで、少しずつ落ち着いてきました。

これからも子どもたちが「楽しかった!」と思える瞬間が少しずつ増えていくように、やる気を引き出すような遊びを考えていきたいと思っています。スタッフが企画する行事だけでなく、地域のボランティアの方による「折り紙」「将棋」「スタディサポート」や町内の高校生による「ボードゲーム」「書道教室」などがあり、その他講師による「ヒップホップダンス」「ドローン体験」など多くの方々にご協力をいただいています。また、児童センターの子どもたちが企画を提案してくれることもあり、日常にも彩りが増えてきています。

これからも気負わず子どもたちにとっての居場所がひとつ増えるといいなという思いで、スタッフ一同全力でサポートしていきたいと思っています。

第1回ブロック研修会に参加して

大府市 石ヶ瀬児童老人福祉センター 佐藤 優子

令和5年6月9日(金)、阿久比町勤労福祉センターにて行われた第1回東尾張・知多ブロック研修会に参加させていただきました。東郷町立兵庫児童館館長 高阪麻子氏による「紙コップランド」の実践と「コミュニケーションの達人になろう」の講義を聞きました。

子どもが表現していることをありのままに受け止めること、考え方や感性が異なるお互いを認め合うことなど、まず大切にするポイントを学びました。その後、実際に4万個の紙コップを使用し、積んだり自由に並べたり周りの人とつなげたりして、町を作りました。できあがった町は壮大で圧巻でした。崩すときの音や崩した後、すべての紙コップをつなげたときの達成感なども心地よかったです。また私を含め、参加者が思い思いに作っている姿は生き生きとしていて、とても楽しい時間を過ごすことができました。



午後の「コミュニケーションの達人になろう」の講義では、講師の経験談からコミュニケーションの大切さを伝えてくださりました。ワークでは、グループの人と名刺交換をした後、名刺を使ったゲームを行いました。自分の名刺の裏側に①見た目(洋服なども含む)②特技・好きな事③自分の児童館の自慢できることを記入し、全部集めてシャッフルし参加者に配布しました。名刺に書かれた情報を頼りに持ち主を探し当てるのです。知らない人を探すので、とても緊張しましたが、裏側に情報が書いてあるので、そこから話を膨らませることができました。

今回の研修で実践した「紙コップランド」は、実際に自館でも8月5日(土)に低学年や高学年、保護者も参加して行いました。普段は一緒に遊ぶことのない子同士が、話をしたり協力したりしながら町を作り、できあがった町のお気に入りの場所で記念撮影をしました。「楽しかった」「ただの紙コップだけど、たくさん使うとこんなこともできるんだね」とみんな笑顔で満足そうでした。

今後も研修で学んだこと、感じたことをいかし、子どもたちの笑顔があふれる児童館を目指していきたいと思います。

令和5年度 第1回児童厚生員研修会に参加して こども期の「あそび」を取り戻す集団援助活動

愛西市 佐屋児童館 鈴木 達也



令和5年7月13日(木)第1回児童厚生員研修会に参加させていただきました。今回の研修は、愛知東邦大学教育学部 伊藤龍仁氏によるこども期の「あそび」を取り戻す集団援助活動という内容でした。

グループワークでは子どもの頃、夢中になっていた遊びについてシートに記入をして、それを元に同じグループの人と輪になって話し合いをしました。ゴム飛びやドッジボールなど世代や性別によって、夢中になっていた遊びは異なりますが鬼ごっこはどの世代の人でも経験し、楽しんでいることが分かりました。鬼ごっこは、子どもの最もポピュラーな戸外遊びであり道具も必要なく広い場

所であれば遊べる事から、幅広い世代で親しまれていると思いました。

鬼ごっこは、年を重ねるごとに楽しめなくなっていくと思いますが、なぜ子どもの頃はあれほど楽しむことができていたのでしょうか。それは、イマジネーションの世界に入り込んでいるからだと学びました。鬼になりたくない、タッチされたら本当に鬼になってしまうと思込むことで、生き残りをかけて逃げるゲームのように感じられるので楽しむことができていたのだと知りました。また、かくれんぼも同様で、怖い鬼から友達みんなが隠れ、いつ見つかるかわからないハラハラドキドキ感を楽しむ遊びであり、イマジネーションの世界に入り込むことで、子どもと同じ目線に立って一緒に遊ぶことができ、楽しい雰囲気を作ることができると思いました。

児童館は、異年齢の子ども達が自由に集まって遊べる場所です。その強みを生かし、遊びを通して仲間づくりができるよう手助けをしていきたいと思いました。職員が子どもの気持ちに寄り添うことが居心地の良い児童館にしていくために最も重要なことの1つだと思いました。



フェスタ

半田市 板山ふれあいセンター

毎年、夏に乳幼児向け・小学生向けのフェスタをそれぞれ開催します。
今年のテーマは「縁日！」帽子屋、ゲーム、おみくじ、アートの交流ブースなど手作り感
いっぱいです。親子や友だちとお店めぐりをしながら楽しくあそびます。子どもスタッフ
(小学生・中学生) が盛り上げます。

スマイルフェスタ ～どうぶつやまのえんにち～

対象：0・1・2歳児



コーナー紹介



ポコスカワニ
おみくじら
うきうきだぞう
アニマルハット
フォトスポット
わなげきりん



アニマルハット・どうぶつわなげは牛乳パックで制作しました。

にじいろフェスタ ～ふれセン縁日～

対象：3・4・5歳児、小学生



コーナー紹介



あきKANツツツム
うきうきゲットだぜ！
ジャンプ de アート
J I K K E N
おもちゃ屋さん
ダーツだっつーの
アイスやさん

木の幹はマリーゴールド染液で描きました。

センサリーボトルわなげ

- ①ミニペットボトル容器のふたの内側にストローをホットボンドで接着
- ②洗濯のりと水(9:1)を入れる。
- ③カラフルチェンリング(10個)を入れる。
- ④ふたを閉めビニールテープを巻く。



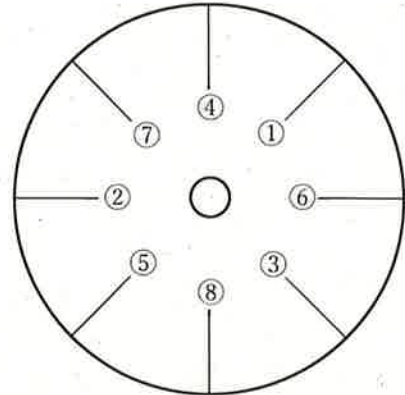
組紐ミサンガ

津島市中央児童館

材料：ダンボールや厚紙等、刺繍糸

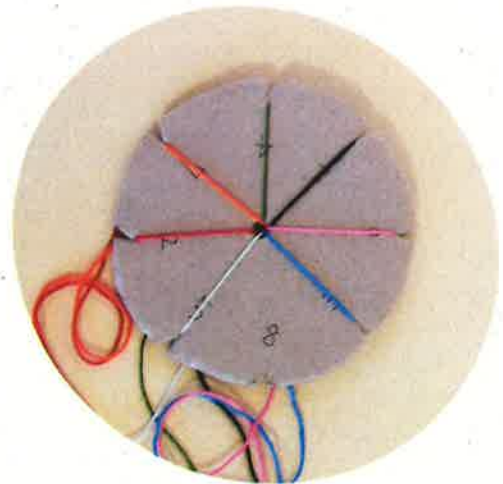
<事前準備>

- 1)ダンボールを図のように直径8cm程度の円形に切る。
- 2)1.5cmくらいの切り込みを8方向に入れ、真ん中に穴をあける。
- 3)切り込みに①～⑧の数字を書く。



<児童の工作手順>

- 1)7本の糸をまとめて、端をひとつに結ぶ。
- 2)真ん中の穴にまとめた刺繍糸を通してから1本ずつ①～⑦の切り込みにはさむ。



<編み方>

- 1)①の糸を、時計回りに2本飛ばした⑧の切り込みにはさむ。
- 2)②の糸を、時計回りに2本飛ばした①の切り込みにはさむ。
- 3)①→⑧、②→①、③→②、④→③、⑤→④、⑥→⑤、⑦→⑥、⑧→⑦、①→⑧…と繰り返していき、腕や足首に巻ける長さまで編めたら、端を結んで完成。



あそびの紹介

挑戦しよう

西尾市児童館

★ 年齢を問わず、みんなで楽しもう！記録を更新して盛り上がろう！

児童館では、「挑戦しよう」と題して、幼児から大人まで楽しめる遊びを工夫しています。中には記録更新をねらって、毎日来館する児童もいます。

これからも、子どもの居場所となるよう工夫し、楽しめる児童館をめざしていきたいです。

コロリング

☆用意するもの

- ・重さ、大きさの違う円柱のストーン4個
- ・ストーンの中に入っている物(ゴルフボール・乾電池・ペットボトルのふた・鈴)
- ※床に得点となる目印を貼る。

☆遊び方

- ・ストーン4個を床に転がし、床の星の数(1～5点)の合計を競う。

☆ポイント

- ・ストーンを投げる力加減によって、高得点が出る。
- ・幼児から大人まで、ストーンを転がすだけで簡単に楽しめる。



ホッピング

☆用意するもの

- ・アイスの棒7本
- ・輪ゴム4つ
- ・ペットボトルのフタ1個
- ・大きさの違う得点を表示した玉受け皿
- ・フェルトの玉(数は適当)

☆発射台の作り方

- ・5本のアイス棒を2本のアイス棒で挟み、丁度良い所を輪ゴムで止める。
- ・挟んだ上側のアイス棒の端に、少し内側にフタを接着する。

☆遊び方

- ・発射台のフタにフェルトの玉を入れ、スティックの端を押して弾き飛ばし、点数を競う。

☆ポイント

- ・発射する位置は、挑戦者が考える。



【アフターコロナ】

江南市児童館

長く続いた新型コロナウイルス感染症は、分類が5類感染症へと引き下げられ「コロナ禍」から「アフターコロナ」へと移行になりました。

3年前、緊急事態宣言が突然発令され、児童館は約3ヶ月間休館せざるを得ませんでした。その後は入館制限や滞在時間の制限を設けて開館し、行事の一部は予約制・人数制限ありで行い、中止する行事もあり、子どもたちは思う存分遊ぶことができませんでした。人との繋がりを求めて児童館を利用したいお母さん方を受け入れることができない時もあり、職員も心苦しい思いをしました。

コロナの5類移行に伴い、様々な制限が解除となり、日に日に児童館もコロナ前の賑わいを見せています。一番の変化は、マスクを外す子どもたちが増え、たくさんの笑顔が見られるようになったことです。

今年の夏は、江南市内3児童館(交通児童遊園、古知野児童館、藤ヶ丘児童館)でそれぞれ夏まつりを開催しました。どの児童館もたくさんの親子の参加があり、それぞれのコーナーを楽しみました。



【ペットボトル空気砲作り】



【ペットボトル空気砲での的当て】



【お菓子交換コーナー】



【ヨーヨー風船つり】



【くじ引き】



【ストラックアウト】

しかし、もちろん全てがコロナ以前と同様というわけにはいきません。コロナはまだ完全に終息したわけではなく、インフルエンザやその他の感染症の心配もあります。コロナ対策で培った感染症への予防のスキルを活かして、施設内の換気や消毒を行い、これからも利用される皆さまが安心して楽しく遊べる児童館にしていきたいと思えます。

今回の募集テーマ「自慢のおもしろ児童館行事」

児童館の中心で愛を叫ぶ!!!

手作りPOP作り 児童館や小学校に掲示します

ヨーヨーロングスリーパー対決

モルック大会 黒ひげ危機一発!

ライオンカップ(チャレンジゲームなど)

キャラクターおはじき大会

ペットボトルキャップでおはじきを作って遊びます

ヤゴ探し 百人一首強化クラブ



たくさんのご意見、ありがとうございました!

次回のテーマは「機関紙 愛知の児童館に載せてほしいこと」です!

右のQRコードにアクセスして、どしどし意見を送ってください♪



第12回 元気スイッチ on!!あつまれ!あいちのじどうかん

児童館もあなたの居場所~いつでもきみをまってるよ~

開催日 2023年11月19日(日)

会場 多世代交流プラザ(小牧市ラピオ内)

基調講演 かつらば編集室はいつもにぎやか

現役スクールカウンセラーがお伝えする、子どもの居場所のつくり方

講師 川島 多美子 氏

分科会 第1分科会 “こどもまんなか” 児童館をDO(実践)しよう!

第2分科会 耳をすませて~こどもの声・思い~

第3分科会 あそびが広がる居場所

第4分科会 みなさんの児童館に中高生は来ていますか?

~私たちだから、児童館だからできること~